

# 「校庭に植えてある気になる木3」

8月6日、校庭の木を調べていたら、また実のなる木が見つかったよ。



うわっ、木にイソギンチャクが付いている。いいえ、これは、クヌギの実。まんまるなドングリだよ。

イヌガヤの実<sup>み</sup>。2年生の子がブランコの後ろのところで見つけたよ。この緑色の実、この先どうかわっていくのかなあ。



ブランコに向かって左側に金色にかがやく実を見つけたよ。おいしそう。…これ、ギンナン(イチョウの実)だよ。

ヒノキの実。つき山の前にあるよ。





西体育小屋の前(先生方のちゅう車場)のところに、かわいくておいしそうなお実を見つけたよ。フユサンゴの実だと思う。とすると、これは食べちゃダメ!おなかをこわすよ。

これはめずらしい! セミのような形の実がなってる…。いえいえ、これはただのさくらの木です。そこにセミが止まって鳴いていたのを見つけただけ。



本当に、丸小って、実のなる木の多い学校だね。どれか一つえらんで、一年間かんさつしてみよう。そして、「丸小実のなる木ずかん」を作ろうよ。

また、他の学校の子と、木を紹しょうかい介しあってもいいね。ポンポンのなる木(すずかけの木。プラタナスとも言う)や「生きている化石」とよばれるメタセコイヤが生えている学校も館林市にはあるよ。